

2010.3.20(土)

### がん診療連携の 強化へ部会設置

徳大病院で協議会

徳島県内のがん診療の連携や医療水準の向上を目指す「県がん診療連携協議会」が19日夜、徳島市内の徳島大学病院で開かれ、「地域連携クリティカルパス」を推進するため、「診療連携部会」を設けることを決めた。

県がん診療連携拠点病院の徳島大、県立中央、徳島赤十字、徳島市民の4病院や県医師会、県看護協会、県の代表者ら22人が出席。各機関の連携策などについて話し合った。

患者ごとの診療経過や治療計画をまとめた電子

データ「地域連携クリティカルパス」は、急性期と回復期病院、かかりつけ医が患者情報を共有するために整備を進められている。県内では拠点病院を中心に運用が始まっているが、かかりつけ医に浸透させるため、診療連携部会を設置することにした。かかりつけ医を

対象にした研修会などを開いていく方針。

委員からは「患者の移動負担を軽減するため、拠点病院以外で化学療法を受けられる地域の診療所との連携強化が必要」「患者との交流会を開き、要望を聞く機会を設けてはどうか」などの意見が出た。